

TOWISE Ver.6.2.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
システム全般	アップデート情報 <システム起動時の検知>	システム起動時の更新告知画面では、「使用可能な更新」一覧から環境へ反映済みのリビジョンアップを除外（非表示）しました。また、ご利用中のソフトウェアが最新バージョンのときは画面上部の「ご利用中のソフトウェアとバージョン」の末尾に<最新>を追記するようにしました。 アンテナ位相特性データは、インストール後にアンテナ位相特性データ設定コマンドを起動することで環境に反映しますが、該当コマンドを起動していない状態でアップデート情報画面を表示した際に一覧に残存していたことが混乱を招く恐れがあると考え、インストールが行われれば非表示としました。
システム全般	アップデート情報 <操作による起動>	お客様の操作によって表示されたアップデート情報画面では、ご利用中のソフトウェアが最新バージョンのときは画面上部の「ご利用中のソフトウェアとバージョン」の末尾に<最新>を追記するようにしました。 ご利用中のソフトウェアと「使用可能な更新」一覧に存在するリビジョンアップが同一バージョンの際、一覧項目の「更新後バージョン」末尾に<最新>を追記するようにしました。
システム全般	提供帳票	提供帳票を『作業規程の準則 令和2年3月31日改正』に準じて調整しました。準則「標準様式」の帳票は様式番号を付加した名称にしておりましたが、改正で変化する場合があるため、「標準様式」の固定文字利用に改めました。また、準則改正で帳票から「印」が除外されたことから「旧帳票」ではない帳票全般の「印」を除外しました。
TOWISE CAD TOWISE BASIC GATE	TBCデータ連携	TBC連携データ管理で連携データを削除できない場合があった件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	3DViewPro	TOWISE Ver6.2.0で追加した64Bit版の3DViewProに対して多くの機能追加・改良を行いました。詳細は「改良内容のご紹介」をご覧ください。
TOWISE BASIC GATE	APA出力	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
TOWISE BASIC GATE	APA入力	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
TOWISE BASIC GATE	エクスポート-数値地形図	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、数値地形図データファイルのデータファイル仕様バージョン「2」に対応し、出力対象規約として「作業規程の準則 令和02年3月版 以降」を追加しました。
TOWISE BASIC GATE	エクスポート-数値地形図	「3Dビュー」または「3DViewPro」に登録されている点群データを、数値地形図データファイルでエクスポートする機能を追加しました。
TOWISE BASIC GATE	観測データ受信	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
TOWISE BASIC GATE	座標受信	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
TOWISE BASIC GATE	座標送信	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
TOWISE BASIC GATE	縦横断SIMA入力	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
TOWISE BASIC GATE	縦横断データ入力	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
測量CAD	図郭編集	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、図郭の自動作成で「地図情報レベル250」を選択できる機能を追加しました。
測量CAD	図郭編集	図郭の自動作成で「3Dビュー」または「3DViewPro」の点群データから図郭を自動作成する機能を追加しました。

TOWISE Ver.6.2.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
測量CAD	セッション作図	中略記号作図コマンドでプロットマークを移動したGNSS計画図に対してセッション作図を行った場合、移動前のプロットマーク位置を元にセッションが作図される場合があった件を改善しました。
現況CAD	観測現況展開	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、展開設定に「作業規程の準則（令和02年03月一部改正 500_1000）」の設定を追加しました。
地籍測量(FG工程編)	大字別集計表	令和2年9月29日公布および施行の「国土調査法施行規則等の一部を改正する省令」に関連する「地籍調査作業規程準則の一部改正」に対応しました。「地積測定成果簿」の改正対応に準じ、地積を切り捨て処理により小数2位へ丸めた値を集計するようにしました。
地籍測量(FG工程編)	地積測定成果簿	令和2年9月29日公布および施行の「国土調査法施行規則等の一部を改正する省令」に関連する「地籍調査作業規程準則の一部改正」に対応しました。第87条の改正規定に準じ、地積を切り捨て処理により小数2位へ丸めた値を出力するようにしました。
地籍測量(FG工程編)	地目別集計表	令和2年9月29日公布および施行の「国土調査法施行規則等の一部を改正する省令」に関連する「地籍調査作業規程準則の一部改正」に対応しました。「地積測定成果簿」の改正対応に準じ、地積を切り捨て処理により小数2位へ丸めた値を集計するようにしました。
水準共通計算	水準APA入力	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
水準単路線計算	器高式手簿	ある測点が往路では本線、復路では放射点というような状態のとき、器高式手簿の往路のページで標高Ⅱと平均標高が空欄になる件、器高式手簿成果簿では別の行に出力される件を改善しました。
GNSS 地形応用	RTK-GNSS観測手簿	帳票『RTK測量観測記簿(RMS)』に記載されるRMS値は帳票出力時に標準偏差から計算して求めるよう改善しました。
GNSS 地形応用 GNSS RTK基準点	RTK観測結果データ	通信形式でデータ交換を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～6の固定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
GNSS 地形応用	点検計算簿（座標較差）	GNSS測量計算条件設定の「点検計算簿(RTK地形・応用)」の「座標較差 ΔX, ΔY」で、1～99までの数値指定となっておりましたが、100まで指定できるよう改善しました。
GNSS スタティック基準点 GNSS RTK基準点	JPGIS成果出力	選択した成果表(公共測量)パートに柱石長が空白の点があると、出力時にエラーが発生する件を改善しました。
GNSS スタティック基準点 GNSS RTK基準点	作業管理	GNSS測量計算条件設定の「水準(精度管理表)」に「仮定網基線ベクトル偏差」を追加しました。「作業区分」が「水準測量」の際、「品質評価表」「精度管理表」で使用します。
GNSS スタティック基準点	成果表(基本測量)	RTKファイルを取り込み後、本コマンドの「座標取り込み」機能で取り込みタイプを「DB優先」にして取り込むと、TOWISEシステムがエラー終了する件を改善しました。
GNSS スタティック基準点 GNSS RTK基準点	成果表(公共測量)	標高値の右に「直接水準による」と出力する機能について、「作業区分」が「水準測量」で新点であれば「GNSS水準による」と出力するよう改善しました。
GNSS スタティック基準点	選点手簿(地籍図根三角点)	現行の帳票様式に沿うよう「選点日」の項目名を「埋標日」に変更しました。
GNSS スタティック基準点 GNSS RTK基準点	品質評価表	「作業区分」が「水準測量」の際、パートデータの有無により、次の5項目を出力するよう改善しました。 「観測データ前後半の基線ベクトルの較差」 「既知点間の楕円体高の閉合差」 「仮定網三次元網平均計算における楕円体高の閉合差」 「仮定網三次元網平均計算における基線ベクトル各成分の残差」 「三次元網平均計算における斜距離の残差」 「作業区分」が「水準測量」の際、これまで未対応だった「CSVファイル出力」が行えるよう改善しました。
現況DM編集	DM-観測現況展開	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、展開設定に「GUIDER 500_1000 作業規程の準則（令和02年03月一部改正）」の設定を追加しました。

TOWISE Ver.6.2.3.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
現況DM編集	DM展開設定	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、参照マスタ/設定に以下を追加しました。 <参照マスタ> ・作業規程の準則 (令和02年03月一部改正 500) ・作業規程の準則 (令和02年03月一部改正 1000) ・作業規程の準則 (令和02年03月一部改正 2500) <設定> ・設定-作業規程の準則 (令和02年03月一部改正 500) ・設定-作業規程の準則 (令和02年03月一部改正 1000) ・設定-作業規程の準則 (令和02年03月一部改正 2500)
DM編集オプション	インポート-数値地形図	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、数値地形図データファイルのデータファイル仕様バージョン「2」に対応しました。
DM編集オプション	インポート-数値地形図	点群データを「3Dビュー」にインポートする機能を追加しました。 「エクスポート-数値地形図」の結果確認としてご利用いただけます。
ツール	TOWISEツール 点パーツ	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、「準則2008-500/準則2008-1000/準則2008-2500」の各パーツグループに「自然災害伝承碑(4208)」を追加しました。
その他	図付き帳票出力	図付き計算書の帳票出力で、「補助図形作図モード」がONの場合、図付き部分が表示されない件を改善しました。
その他	提供素材	「作業規程の準則 令和2年3月31日改正」に準じて、追加された説明書「三次元点群データ説明書」を提供素材としてオリジナルCD内に追加しました。帳票フォームユーティリティより呼び出すことができます。
GUIDER ZERO基本機能	NMEA設定	シリアル通信でNMEA出力端末接続を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～99の数値指定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	TS設定	シリアル通信でTS接続を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～99の数値指定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
Robotic PILOT SX PILOT	ターゲット詳細設定	「Sシリーズ 360°」を「360プリズム」に名称変更し、表示イメージを「Trimble 360 Prism」へ更新しました。従来「Sシリーズ 360°」を利用されていた場合は継続して「360プリズム」をご利用ください。
SKY Controller	GNSS受信機調整	シリアル通信でGNSS受信機接続を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～99の数値指定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。
SKY Controller	GNSS設定	シリアル通信でGNSS受信機接続を行うときに指定するCOMポート番号が従来は1～99の数値指定でしたが、ご利用PC環境に存在するCOMポート一覧から指定できるようになりました。

2020年12月 株式会社 ニコン・トリンプル